

## 意見書案第 2 号

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書案

上記の意見書案を提出する。

令和 3 年(2021 年)10 月 13 日

提出者 中 川 睦 子

賛成者 辻 真 理 子

賛成者 角 井 英 明

### コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の消失から 2020 年産米の過大な流通在庫が生まれました。しかし、これまで有効な手立てがとられず、2020 年産米の市場価格は大暴落しました。

政府からは、主食米 6.5 万ヘクタールの上乗せ減反が打ち出され、農家では米価暴落の危機感から飼料米への転換を進められているが、感染拡大によるさらなる消費減少と相まって、2021 年産米は昨年以上の米価下落が危惧されています。

コロナ禍の需要減少による過剰在庫分は、政府が責任をもって市場隔離すべきであり、その責任を生産者・流通業者に押し付けることは許されません。政府の責任による緊急買入れなどの、特別な隔離対策が絶対に必要です。

同時に、国内需給には必要がないミニマムアクセス米は、毎年 77 万トンも輸入されています。国内消費量はミニマムアクセス米輸入開始以来の 26 年間で 4 分の 3 に減少したにもかかわらず、一切見直されていません。せめてバターや脱脂粉乳並みに、不要なミニマムアクセス米の輸入数量を調整するなど、国内産米優先の米政策に転換することが必要です。

また、コロナ禍の中、全国各地で取り組まれている食糧支援には、収入減で日々の食事を切り詰めるなど、困窮されている方が多数訪れ、米をはじめとする食料配布が歓迎されています。行き場を失った農産物を政府の責任で買い取り、困窮する国民に提供することが、今こそ求められています。

我が彦根市は市域の約 14%が水田であり、「水と米作りの歴史」を持ち、主要産業のひとつと

なっています。それだけに米価の暴落は重大な損失を被ることになりかねません。

コロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が求められます。

以上の趣旨から、政府におかれては下記事項を措置されるよう強く要請します。

#### 記

- 1 コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。
- 2 政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困窮者・学生などへの食料支援で活用すること。
- 3 国内消費に必要なない外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入については当面、国産米の需給状況に応じた数量調整を実施すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき意見書を提出します。

令和 3 年 10 月 13 日

彦 根 市 議 会

内閣総理大臣 殿

農林水産大臣 殿

衆議院議長 殿

参議院議長 殿